

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1・23	利用者の重度化に伴い、医療や身体的ケアの側面が増えるにつれて、グループホームケアを見失いがちになっている。	理念「一人一人の生活を大切に」のもと、馴染みの関係の中で、個別性、多様性に富んだ認知症ケア、グループホームの特色を活かした支援が行える。	理念共有の大切さを再周知し、センター方式の活用、適切なケアプラン課題分析のもと、利用者に寄り添い、パーソンセンタードケアを実践する。	12 か月
2	4	運営推進会議の内容が画一化、マンネリ化してはいないか？ 事業所からの報告が大部分を占め、参加者の意見交換が十分行われていると言えないのではないか。	現状よりも、活発な意見交換がなされ、事業所運営に効果的にフィードバックされる。	多くの職員、また多職種の参加により、様々な観点から業務、研究、研修報告を行う。 課題を設け、会議開催の度に達成状況の報告を行う。 参加者にわかりやすい議事の提案、コミュニケーションを促せる進行を心掛ける。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。